

被災地へ届け！

松浦市民の思い

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震。我が国観測史上最大のマグニチュード9.0という巨大地震とその後に襲った大津波は、広域にわたって2万8千人を超える死者・行方不明者を出し、甚大な被害をもたらしました。この震災により犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表し、被災された方々にお見舞い申し上げます。

今、自分にながでできるのか。困っている人のためにできることはないのか。本市でも多くの人が被災地のために祈り、多くの人が動いています。

市の支援活動

■義援金

被災地を救援するため、福祉事務所や各支所などに募金箱を設置し、義援金を受け付けました。

4月15日現在、市民の皆さんから寄せられた義援金は、8,165,205円にのぼり、日本赤十字社を通じて被災地に届けられました。

■救済物資

被災地から要請があった保存食や水、毛布などの物資を中心に受け付けました。寄せられた約2トンの救

援物資は、取りまとめである長崎県を通じて宮城県に送られました。

なお、救済物資は、被災県から物資が充足しているとの連絡があり、4月13日で受付を停止しています。

■市独自の支援物資

4月15日には、市独自の支援として福島県田村市に、白米約800^キ、旬サバの缶詰1,800個、市職員
の支援によるカップ麺約2千食などを今里産業（有）の協力を受け送りました。

■被災者を受け入れる

住宅の提供
東北地方太平洋沖地震のために従

来住んでいた住居に住めなくなった人に市公営住宅などを提供しています。

【入居期間・家賃など】

入居期間は、当初の許可日から最長、通算1年間です（申請は年度ごとに必要なです。許可も年度ごとに行います）。
・敷金、家賃は免除します。

【入居可能住宅】

団地名	住所	階建	エレベーターの有無	間取	可住戸数 提供可能
長嶺団地	御厨町里免 172 番地	平屋	無	2 K	2 戸
人柱改良団地	今福町北免 2009 番地 48	2	無	2 DK	1 戸
御厨上坊団地	御厨町前田免 599 番地 2	5	無	3 DK	2 戸
高野松山団地	志佐町高野免 60 番地 2	5	無	2 DK	2 戸
				3 DK	1 戸
調川宮ノ前団地	調川町下免 612 番地 4	5	無	3 DK	2 戸

【問合せ先】

都市計画課住宅係
☎内線 214・217

■被災地域の児童生徒の受け入れ

被災地域からの児童生徒の転入学の希望があった場合には、速やかに受け入れるなどの対応を行います。

市民の皆さんには、緊急の対応として被災地域から転入学の情報が寄せられた場合には、速やかに左記に連絡をお願いします。

【具体的な対応例】

- ・教科書無償給与
- ・就学援助など（学用品、学校給食費）
- ・修了、卒業認定など
- ・心のケアを含む健康相談活動など

【問合せ先】

教育委員会学校教育課
☎内線 347

■被災者（乳幼児）の保育所や幼稚園での受け入れ

被災した乳幼児を保育所や幼稚園で受け入れます。

○保育所 乳幼児の受け入れ可能です。特例として、住所要件は問いません。

【問合せ先】

子育て・こども課
☎内線 148

○幼稚園 3歳から受け入れ可能です。特例として、住所要件は問いません。

【問合せ先】

認定こども園 慈光幼稚園
☎0956-75-1055
認定こども園 松浦幼稚園
☎0956-72-3338

広がる支援の輪

■小・中・高校生も募金活動

松浦高校生徒会が3月19日、東北地方太平洋沖地震の義援金街頭募金活動を行いました。

また、市内の中学校の多くが生徒会で募金活動を行ったり、小学校でも書き損じたはがきを集めたりするなどの活動をしています。



■写真上は、松浦高校生徒会による街頭募金活動の様子。写真下は、志佐中学校生徒会による同校校門前の募金活動の様子。

■県内外の外国語指導助手（ALT）が、チャリティーイベント開催

市内のALTを中心とした県内外のALTなどが4月10日、志佐小学校体育館で東北地方太平洋沖地震被災者支援チャリティーイベント「頑張って！JAPAN」を開催しました。

このイベントは、市内のALTが企画したもので、県内各地から約30人のALTなどが集結。佐賀県からも4人のALTが駆け付けました。

この日は、イベント前に市民から集めた品物でのチャリティーバザーを行い、有料でフェイスペインティングや占い、趣向を凝らしたゲームなどをしたり、各国の料理やお菓子を販売したりしました。また、趣旨に賛同した市内を中心に活動する松実会、松浦よきこい、松浦龍王太鼓、フェアリーズ、コール御厨などのステージパフォーマンスもあり、会場は家族連れなどで大きな賑わいを見せました。

イベントの収益金約63万円のうち現金での収益金約55万2千円を、4

月12日、市内のALTなどが義援金として市長に届け、被災地に送られました。



ここで紹介したのはほんの一部です。ほかにも多くの団体、個人の方々が、募金活動を行ったり、義援金や救援物資へ協力されています。皆さんが温かい心は、被災地の皆さんにきつと届くことでしょう。



市の動き

【3月11日】 津波警報発令による災害警戒本部を設置。情報収集、市民の皆さんへの広報。

【3月14日】 緊急支援本部を設置するとともに総務課に被災者支援相談の総合窓口を設置。給水車1台と上下水道課職員2人、市消防本部から救急車1台と隊員3人を派遣。

【3月15日・17日】 福島第一原発事故発生に伴い、15日には長崎県知事に、17日には県防災危機管理監に対して、安全対策、防災計画の見直しなどを要請。

【3月19日】 玄海原子力発電所に対し、市長および議長名で、福島第一原発の事故概要および玄海原子力発電所での事故対策についての説明の申し入れ。

【3月29日】 市議会全員協議会開催。玄海原子力発電所地域担当次長以下4人による福島第一原子力発電所等事故の概略説明と玄海原子力発電所の安全性についての説明、質疑応答。

【4月5日】 長崎市で開催された第108回長崎県市長会での東日本大震災に関する決議に原子力発電所事故関係の項目を追加し、決議。

【4月6日】 市議会臨時会で「原子力安全規制の強化及び原子力防災指針等の抜本的改正を求める意見書」が全会一致で可決。政府および関係機関へ提出。

【4月18日】 玄海原子力発電所で、津波に対する緊急安全対策説明会。同発電所の訓練を見学。市、議会からも参加。

【4月21日】 県知事に対し、「原子力防災等に関する要望書」を提出。